

背景・目的

9月下旬～10月上旬に播種するコマツナの冬季栽培（無加温）には、‘陽翠’が適していますが、10月中旬以降の播種を希望する生産者の声を受け、低温伸長性が高い‘MS-1285’について、‘陽翠’と比較検討しました。

結果

出荷できるサイズに到達した日はいつか？

栽培条件：無加温，空気膜二重フィルムハウス，トンネルあり，直播

品種	R3/10/4 播種	R3/10/9 播種	R3/10/14 播種	R3/10/19 播種
MS-1285	12月3日	12月17日	未到達	未到達
陽翠	12月3日	12月17日	未到達	未到達

※出荷できるサイズ：草丈20cmかつ調製後一株重30g以上と設定

- ・栽培期間中は平均気温が平年に比べて0.8℃高い年であり、

10月9日までの播種なら出荷が可能でした！



収穫日と一株重(g)		11月19日		12月3日		12月17日		1月14日	
品種	試験区	調製前	調製後	調製前	調製後	調製前	調製後	調製前	調製後
MS-1285	10/4 播種	21	18	52	45	60	50	56	28
	10/9 播種	—	—	27	23	54	46	44	26
	10/14 播種	—	—	—	—	30	25	33	19
陽翠	10/4 播種	20	18	40	36	52	43	52	33
	10/9 播種	—	—	27	23	43	38	40	29
	10/14 播種	—	—	—	—	22	19	32	24

- ・‘MS-1285’は、初期生育が‘陽翠’より早く、一株重も重くなりましたが、10月14日以降の播種では出荷できるサイズになりませんでした。
- ・**12月下旬からの低温により、‘MS-1285’‘陽翠’共に凍害が発生**しましたが、‘陽翠’は調製により出荷ができるサイズを維持できました。



左：MS-1285 ， 右：陽翠

結果の活かし方

- ・コマツナの冬季無加温栽培では、10月9日までに播種することを推奨します。
- ・なお、‘MS-1285’は現段階では販売の予定がないため（令和5年1月30日，株武蔵野種苗園に確認），当面は‘陽翠’の結果を活用してください。